

宝達志水町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議について

【推進会議の必要性】

- 1 平成28年2月策定した「宝達志水町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を着実に推進していくために、PDCAサイクルを確立していくことが必要とされている。
- 2 そのためには、総合戦略で定めている数値目標やKPI（重要業績評価指標）を基に実施した施策や事業の効果について、外部有識者等で構成する「宝達志水町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」を設置し、毎年度、各施策・事業の評価・検証・改善を行っていくことが必要である。
- 3 毎年度、各施策・事業の評価・検証・改善を行うことにより、施策・事業の見直しや総合戦略の改訂についても、必要に応じ適宜行っていくこととする。

<参考>

※「地方版総合戦略策定のための手引き」より(平成27年1月・内閣府地方創生推進室)

○ PDCAサイクルの確立

まち・ひと・しごと創生を実現するためには、PDCAサイクルを確立していくことが必要である。具体的には、効果的な総合戦略を策定し、着実に実施していくとともに、設定した数値目標等を基に、実施した施策・事業の効果を検証し、必要に応じて改定するという一連のプロセスを実行していく。

○ 外部有識者の参画

総合戦略の効果検証に際しては、その妥当性・客観性を担保するため、行政の中で行うのではなく、総合戦略策定に向け、構成した推進組織を活用して、外部有識者等の参画を得ることが重要である。

【推進会議の役割】

- 1 年度毎に各担当課から提出される進捗管理シートにより、総合戦略に基づく各種施策・事業の進捗状況及び担当課の評価に対し、会議として評価・検証を行うとともに、改善の意見も積極的に提言する。
- 2 改善の意見としては、数値目標やKPI（重要業績評価指標）の数値の見直し、事業の一部見直し、場合によっては事業の抜本的見直しなどである。

宝達志水町まち・ひと・しごと創生推進体制

